

豊かで成熟したライフスタイルを提案する

季刊誌

「五感の生活」春号 vol.10

The Mature Life with Five Senses

2024年4月発行



特集／

- ・「伝統工芸を未来へと繋ぐ」神谷恵美さん
- ・生活リハビリ「園芸クラブの活動を通じて」ハートライフ長泉
「自宅に帰りたいという希望の実現に向けて」ハートフルホーム小鹿公園前
- ・五感の生活「季節のレクリエーション」
- ・アクタガワグループ 2024年度目標発表会



静岡の有名人

Interview

神谷恵美さん

神谷恵美さんプロフィール

静岡県掛川市出身
18歳から駿河竹千筋細工職人の篠宮康博さんのもとに弟子入り。
現在は、静岡竹工芸協同組合に所属している。
ゴルフトーナメント「ユピテル・静岡新聞SBSレディースカップ」の優勝トロフィー制作も手掛ける。

伝統工芸を未来へと繋ぐ

今回は駿河竹千筋細工一筋20年以上のベテラン職人の神谷恵美さんにインタビューの機会をいただきました。

Q1 駿河竹千筋細工の職人を志したきっかけや理由などを教えてください

高校生の頃進路や職業を現実的に考える時期があり、その時に長く続けていける仕事がしたいと考えていました。その中でたまたま伝統工芸品というものを知って、おもしろそうだなと思い、調べていくうちに静岡に千筋細工というものがあるということを知りました。

静岡市は工芸者育成のサポート事業の制度がちょうど始まる年だったので、学生の頃から少しずつ通わせていただきました。卒業と同時にサポート制度を受けて弟子入りしました。そこからは1対1で篠宮康博さんに指導していただきました。

カリキュラムをきっちりやるというよりは、その仕事をやりながらできる範囲のことを一緒にやっていくという教え方で、職人は子弟の関係は厳しいイメージはありますが、師匠はのんびりした方でした。

Q2 実際にご自身で作品をつくりあげるのはお弟子さんになられてすぐできるようになったのでしょうか？

1年目の頃から簡単なものでしたらなんとなくなりました。ただ、千筋細工は作業工程が多いので、完全に全部の作業を覚えて自分で全てをやるのは、そんなにすぐにはできませんでした。最初のころはそれなりの完成度のものしかできなかったというのが正直なところです。千筋細工の業界ですと5~10年経って一人前になるというのは昔から言われています。一通りできて、思うように作れるのは10年くらい経たないとできないと思います。

私は約13年間師匠のところでも勉強させていただきました。

Q3 駿河竹千筋細工の特長・魅力を教えてください。

編んで立体的にしていく竹細工が日本全国にあります。駿河竹千筋細工の場合は編みだけではなく、「編み」と「輪っか」と「丸ひご」を組み合わせて作るというところに特徴があります。竹を細かく裂いたものを「ひご」と呼びます。平のものに対して丸く削るので「丸ひご」と呼んでいます。「丸ひご」を使っているのが静岡の特徴です。丸く削っていろいろな種類の作品をつくっているのは静岡以外ではないです。全国的に見ても珍しく、一番わかりやすい特徴です。



てまり(静岡竹工芸協同組合提供)



静岡竹工芸協同組合提供

Q4 駿河竹千筋細工作りで大切にしていることは何ですか？

人によって違うと思いますが、使い勝手ということもそうですし、竹の素材の良さをわかるようなものをつくりたいと思っています。竹で作っているということが売りなので、竹でこんなことができるんだよと、竹の素材の魅力を伝えるものを作りたいと思っています。



こなす (静岡竹工芸協同組合提供)

Q5 職人になって苦勞したエピソードはありますか？

数えたらきりがありません。私は予備知識がないところからこの世界に飛び込んだので全部が初めてで大変でした。身体的に大変だったのが腰を痛めたことです。作業的にずっと座ってかがむような座り作業がほとんどなので、腰をかがめてぎっくり腰になったこともありました。

また、竹はカビやすいので、湿気がすごい時期に材料や作り途中の物全部にカビが出てしまったときがあって、その時は仕事辞めようかなと思うくらい大変でした。作り直しになってしまうので、材料は何とか削ったりして使えるものもありましたが、作り途中の物は全部処分しました。なかなか衝撃的でした。管理も大変ですね。

技術的な面で習得に苦勞したことは曲げの加工が工程の中で経験が問われますので、「輪っか」を曲げたりする加工、技術は難しく習得に時間がかかりました。



ぬばたま (静岡竹工芸協同組合提供)

Q6 作品作りのやりがいは何ですか？

新しいものを作るときってすごく悩んだり、時間がかかったりして大変ですけど、それが面白かったりもします。駿河竹千筋細工の場合はデザインから自分で完成の最後までやる場合がほとんどなので、分業制の工芸品もありますが、駿河竹千筋細工の場合は完全に独りで完成させるものが多いです。そこがやりがいというか楽しいということだと思います。

自己満足的なやりがいという毎日自分との闘いみたいなものですので、経験を積むと作業のスピードがだんだんあがってきたり、何年前は何日もかかっていたところが、最近は前より早くできるとか、仕上がりの精度が上がったりとかというところで、自分でにやにやします。そういったところもやりがいのひとつです。

Q7 今後、駿河竹千筋細工の継承や発展に向けて取り組むべき課題や展望について、お考えはありますか？

後継者不足がうちの業界に限らずこの業界もあると思います。自分が始めた20年以上前からずっと言われてきています。やりたいという若い人を育てていけたらと思います。それが責任と言いますか、課題になるかなと思います。職人の数が昔に比べて少なくなっていて、師匠がいらないという状態がここ数年あるものですから、自分も現役のうちに弟子をとったり、若い人に技術を伝えていけたら良いなと思います。

作品としては自分のオリジナリティーがあるものを作りたいというのはあります。特注でくるものは自分だけで考えとどうしてもこり固まってしまうので、作れるものが限られてしまうので、いろんな今まで作ったことのないようなもの、こんなのもできるんだというものに挑戦したいと思います。

Q8 神谷さんにとって駿河竹千筋細工とは？

仕事ではありますが、生活の一部ですね。切っても切り離せないです。年齢の中で職人人生の方が長いです。家庭を持って子供が生まれても職人を続けられるようにしていかなければという使命感があります。女性で職人をできた人がいるよというのがあれば、これからの若い女性も続けていけるのかなと思います。前例がないので、非常に大変ですが、そうすればやりたいと思う人が増えるのかなと思います。組合や業界全体で協力して若手を育てていく感じで動いているので、それがあると育てていけるのかなと思います。自分一人で親方だけで面倒をみるというのは難しいと思います。市の後継者育成の事業組合のサポートとかあるのはありがたいと思います。

駿河竹千筋細工の特長

竹細工は「平ひご」を用いて編んで作る技法が一般的であるのに対し、駿河竹千筋細工は「丸ひご」を使い一本一本ひごを組み千筋にする。竹ひごを輪に曲げるのに独特の曲げの技法を持ち、輪の部分とつなぎ方に継手という独自の技法を用いている。一人の職人が技法を駆使し、仕上げまで九分通り作り上げる。

対談を終えて

神谷さんは駿河竹千筋細工一筋20年以上のベテラン職人ですが、とても気さくで穏やかな方でした。

駿河竹千筋細工は、とても繊細で優美な姿であることから、取材前は飾って楽しむ美術品のような認識でいましたが、全て実用品として作られており、美しさと実用性が融合された価値のある日本の伝統工芸品であると感じました。他の伝統工芸と同様に、技術の伝承に課題があるというお話を伺い、改めて日本が抱える課題についても考える機会になりました。

アクタガワの生活リハビリ



ホームページで
閲覧下さい。

生活リハビリの取り組みをご紹介します

生活リハビリ長泉 デイサービスセンター

園芸クラブの活動を通じて

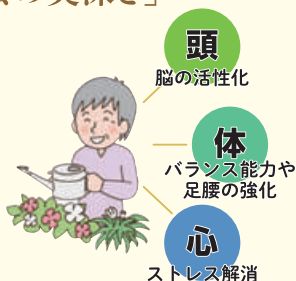
園芸クラブで頭も体も生き生き元気

生活リハビリ長泉デイサービスセンターでは、「園芸クラブ」と称して、お客様に園芸を通じて頭と体を鍛える取り組みをしております。今まで趣味で園芸を楽しまれていた方も初心者の方もみんなで楽しく、野菜やお花のお世話をして成長を見守っています。中には「以前、園芸をやっていたが体力の低下とともに出来なくなってしまった」という方もいらっしゃいます。そのような方でも、専属の理学療法士や介護職員のサポートを受けて、安心して楽しんでいただいています。



楽しいだけではない「園芸の奥深さ」

園芸には楽しいだけでなく、園芸を行う事で「頭」「体」「心」に良い効果があります。そのため「園芸療法」とも呼ばれております。他のお客様とコミュニケーションを取りながら行うため、社会性の維持にも繋がります。



園芸を通してつながる「活動の輪」

お客様の状態に合わせて、それぞれの活動（役割）を提案することで日々の生活にメリハリが生まれ、活動的な生活が送れるよう支援しております。



園芸クラブの活動を支える生活リハビリ



園芸クラブの活動は買い出し、水やり、収穫、調理など多岐にわたります。そのような活動を継続的に行うには身体機能・生活行為能力の維持・向上が必要です。当デイサービスでは、生活リハビリを実施することでお客様の身体機能や能力の維持・向上を図っていきます。

【花と緑のコンクール】へ初めての応募

園芸クラブももうすぐ4年目に入ろうとしていた23年6月。この中庭を「もっと多くの方にみてもらいたい」との思いで、長泉町の【花と緑のコンクール】に初めて応募することになりました。



お披露目会

花壇のお披露目会では、お客様が大切に作り上げた花壇を大勢の人の前で【披露する・発信する】機会を設けることができました。



応募用紙の作成と提出

コンクールの応募用紙には園芸クラブのお客様が考えた、花壇のこだわりや魅力をたっぷり書き込みました。お客様にも「バッチリだね!」とOKをいただき、園芸クラブのお客様と一緒に長泉町役場へ提出しに行きました。



花と緑のコンクールで団体の部 健闘賞を受賞

9月下旬、長泉町より連絡があり、第9回花と緑のコンクール団体の部で健闘賞を受賞することができました!

今回のコンクール応募の取組みと健闘賞の受賞は、デイサービスに通いながらも、社会性を維持し、生きがいを創出できる、とても素晴らしい出来事でした。



「自宅に帰りたい」という希望の実現に向けて

以前はシルバーカーを使いご自身で歩かれる生活をしていましたが、2022年10月、施設入居中にラクナ梗塞を発症し病院に入院。1ヶ月ほどで退院するも左手足の軽度の麻痺と病院での寝たきりにより、車椅子の生活となりましたが、「少しでも自分で出来る事を増やしたい」という思いから生活リハビリが始まりました。

基本情報



年齢 70代(男性K様)

介護度 要介護4

その他既往歴 変形性脊椎症、腰部脊柱管狭窄症、狭心症など。

生活歴 製造会社や木工会社などで60歳まで就業。趣味は釣り、日本地図を見ること。

2023年3月、尿路感染症で市内の病院に入院し、**身体機能が低下して歩くことが困難**になっていたため、利用開始当初はベッド上で過ごすことが多く、移動は車椅子を使用しなくてはなりませんでした。また、体調もしつかりと回復していたわけではなく、度々の通院や食事摂取も進まない状況が続き、**生活リハビリを積極的にいけるだけの意欲や状態ではありませんでした。**

1 3月:利用開始「リハビリ困難期」

- ・移乗や起き上がり：見守りにて可能
- ・立位保持：支持物を使用して20～30秒程度、見守りにて可能
- ・移動：車椅子全介助
- ・歩行能力：軽介助で連続して30～40m程度で、歩いた後に血圧や脈が上昇してしまい、強い疲労感により実用性が低い状態。
- ・階段昇降：実施できない状態

2 4月:転機「気持ちの転換期」

腹痛から救急搬送し腸炎にて入院。退院後からご本人様の表情が良くなり、食事も上がり、リハビリの受け入れもスムーズになって歩行練習へとステップを踏めるようになったのです。本格的に在宅復帰に向けた生活リハビリができる状態になりました。

3 5月:新たなスタート「運動量向上期」

目標

自宅に帰って、以前のように自分の足で散歩に行きたい

ご自宅に帰るために作業療法士が作成した当時のリハビリプログラム。これを毎日介護職員と行います。



階段昇降の様子

4 6月:在宅復帰へあと一歩 「多職種による居宅訪問」

いよいよご自宅に帰る兆しがみえてきたK様。体力もついて、歩く動作も安定し、階段も安全に昇り降りが行えるようになりました。

5 6月末:「念願の自宅復帰!」

居宅訪問の後、日帰りでご自宅に帰ることから始めました。この頃のK様は、本当に表情も豊かで、ご自宅で過ごす際の様子を想像しながら行うリハビリでは、「早く家に帰りたい、やっとだよ」と在宅復帰を心待ちにしていました。



作業療法士(左)との階段昇降の動作確認と練習の様子

【2023年6月時点の身体機能(作業療法士による評価)】

経過と成果

- ・移乗や起き上がり：**自立**
- ・立位保持：**支持物を使用せずに長時間の保持が可能**、見守りも必要なく自立
- ・移動：杖や歩行器を使わずに**一人で自立して歩くことができる**。血圧や脈拍の上昇、疲労感も見られることはなくなりました。
- ・階段昇降：手すりを使用して**安全に昇降可能**になりました。

こうして6月末、K様は元気にご自宅に帰宅し、通いへの利用に移行することができました。今では入院以前のように、ご自宅の周囲を散歩されているそうです。小規模の利用を開始した当初の「自宅に帰って、以前のように自分の足で散歩に行きたい」という**目標を見事に達成された**のです。

アクタガワの生活リハビリ

アクタガワでは『生活リハビリ』を通して、お客様にいつでも「自分らしい人生」を歩んでいただけるよう、県内に展開している全ての小規模多機能型居宅介護にリハビリ専門職が関わり、介護職員・看護職員とともにチーム一丸となって取り組んでいます。「〇〇に行きたい」「前のように△△が出来るようになりたい」というお客様の希望があれば、生活リハビリとして目標へ近づけるようサポートさせていただきます。一人でも多くの「笑顔」が増えることを願います。

アクタガワの生活リハビリのホームページを上記QRコードより閲覧下さい。【動画あり】



五感の生活

The Mature Life with Five Senses

～豊かで成熟したライフスタイルを提案する～



ホームページで
閲覧下さい。

春夏秋冬ごとに視覚、嗅覚、聴覚、味覚、触覚といった五感を刺激する生活の提案により、美しさや喜びを感じ、より自由に「今、ここ、この瞬間」を、生きがいある人生として送っていただくことを目指しています。



五感の生活を通して豊かになる春の事例を紹介いたします。

桜を見ながらの歩行訓練



変わり種そば「桜きり」



桜の木工作



お茶会（抹茶ラテ）



春

春は、寒い冬から次第に暖かくなり、草木が芽吹き、花々が咲き誇る季節となります。

アクタガワでは、この季節になると、桜を愛でる外出レクリエーションや、春の和菓子を楽しむお茶会等、季節を感じられる取組みを行っています。

季節の移ろいを感じ、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚といった五感への刺激が、人生をより豊かに感じさせてくれます。

五感の生活のホームページを上記QRコードより閲覧下さい。

アクタガワグループ 2024年度目標発表会を開催しました



アクタガワグループでは、毎年3月に来年度の事業目標を共有する「目標発表会」を開催しています。新型コロナウイルス感染症が広まって以降はWebでの開催としておりましたが、今回5年ぶりに対面にて開催をいたしました。

2024年度の事業目標として、弊社グループの代表より、下記の方向性が示されました。

- グループとして成長していくために、改めて会社の目的を明確にする必要がある。
経営理念を端的に表した「五感の生活」というスローガンのもとに、グループ各社がどのような社会課題を解決するのかを明確にし、事業を推進していくことが大切である。
- 多角化戦略としてグループ内でのシナジーを発揮させること、サービスの質の向上と経費削減を両立し競争優位性を高めること、そして引続きDXを推進し変革を起こしていくこと等が示された。

事業目標の発表の後は、2023年度の社内表彰や景品の抽選会等を行い、久々に対面にて集合できた時間を共有し、喜びを分かち合いました。

今後、掲げた目標に全社員でチャレンジし実現することで、皆様により大きな価値を届けられるよう注力して参りたいと存じます。

スローガン「五感の生活」とは

私達は、五感を通して外界と繋がっています。今まで五感を通して、ひたすら外界に向かって究め尽くした結果、近代文明は便利で快適な社会を作り上げましたが、近年人類の存在が危ぶまれる多くの問題を起すまでになってきました。また、大量のモノや情報の洪水により、五感は正常な機能を失いかけています。

だからこそ、私たちはもっと内面に意識を戻し、人間のあるべき姿と環境を見つめ直し、研ぎ澄まされた五感を取り戻すことが必要です。そうした要素を「五感の生活」というスローガンとして掲げ、各事業に取り入れていこうと考えています。

会社概要

- 社 名 株式会社 アクタガワ
- 設立年月日 1999年6月14日
- 資 本 金 2,000万円
- 代表取締役 芥川 崇仁



事業内容

ライフケア事業（介護サービス）

- プレミアムハートライフ（介護付有料老人ホーム）
- ハートライフ（サービス付き高齢者向け住宅）
- ハートフルホーム（総合介護サービス）
 - ・訪問介護サービス
 - ・夜間対応型訪問介護サービス（ヘルパー通サービス）
 - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護（定額ヘルパー通報サービス）
 - ・通所介護サービス（デイサービス）
 - ・生活リハビリテーション・ロコモーショントレーニング
 - ・小規模多機能型居宅介護
 - ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
 - ・居宅介護支援事業
 - ・地域包括支援センター
 - ・在宅介護支援センター
 - ・その他福祉事業
- 脳梗塞リハビリBOT静岡

ライフサポート事業（介護関連サービス）

- ・福祉用具貸与・販売・住宅改修（べんぎん福祉用具サービス）
- ・住まいの110番（暮らしのお困りごと）
- ・シニアのリフォーム

子育て事業

- ・べんぎん保育園
- ・セノバ保育園



介護事業



介護関連事業



子育て事業



人材紹介・派遣事業

事業所

本 店	〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目 8-1 〒420-0034 静岡市葵区常磐町二丁目 13-4 TEL : 054-280-5588 FAX : 054-280-2676 ライフケア事業本部 TEL : 054-280-5588 FAX : 054-280-2676
本 社	メディカル・スタッフ事業（株式会社アクタガワHRM） TEL : 054-654-5088 FAX : 054-282-4288 ライフサポート事業部 TEL : 0120-894-888 FAX : 054-270-7010 管理本部（株式会社アクタガワホールディングス） TEL : 054-204-1388 FAX : 054-204-1387
プレミアムハートライフ大岩	〒420-0886 静岡市葵区大岩一丁目 8-14 TEL : 054-200-8300 FAX : 054-200-2808
プレミアムハートライフ千代田	〒420-0803 静岡市葵区千代田六丁目 14-7 TEL : 054-207-8288 FAX : 054-207-8388
プレミアムハートライフ小鹿公園前	〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 927-1 TEL : 054-654-5488 FAX : 054-654-2205
ハートライフ千代田	〒420-0803 静岡市葵区千代田六丁目 14-4 TEL : 054-265-1700 FAX : 054-265-1518
ハートライフ押切	〒424-0008 静岡市清水区押切 845-2 TEL : 054-348-1688 FAX : 054-348-1692
ハートライフ高柳	〒426-0041 藤枝市高柳三丁目 29-31 TEL : 054-631-6821 FAX : 054-631-6824
ハートライフ小石川	〒426-0033 藤枝市小石川三丁目 19-23 TEL : 054-639-5398 FAX : 054-639-5198
ハートライフ初生	〒433-8112 浜松市中央区初生町 720-2 TEL : 053-523-8570 FAX : 053-523-8579
ハートライフ長泉	〒411-0944 駿東郡長泉町竹原 360-1 TEL : 055-971-6388 FAX : 055-971-6360
ハートフルホーム城北	〒420-0936 静岡市葵区池ヶ谷 6-20 TEL : 054-249-1188 FAX : 054-249-1189
ハートフルホーム西奈	〒420-0916 静岡市葵区瀬名中央一丁目 4-3 TEL : 054-655-0588 FAX : 054-655-1388
ハートフルホーム静岡中央	〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵 1 丁目 8-1 TEL : 054-205-1988 FAX : 054-205-1989
ハートフルホーム小鹿公園前	〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 927-1 TEL : 054-654-2220 FAX : 054-654-2206
ハートフルホーム八幡 (小規模多機能型居宅介護事業所・グループホーム)	〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目 12-10 TEL : 054-286-8788 FAX : 054-202-5032

ハートフルホーム八幡

〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目 10-10
(生活リハビリ八幡)
TEL : 054-204-0688 FAX : 054-204-0689
(居宅介護支援事業所)
TEL : 054-284-0540 FAX : 054-204-0689

ハートフルホーム御門台

〒424-0066 静岡市清水区七ツ新屋二丁目 1-28
TEL : 054-349-6880 FAX : 054-349-6881

ハートフルホーム有東坂

〒424-0873 静岡市清水区有東坂一丁目 224-45
TEL : 054-349-3188 FAX : 054-349-3110

ハートフルホーム清水銀座

〒424-0817 静岡市清水区銀座 13-30 パルシティ 2F
TEL : 054-361-2188 FAX : 054-361-2180

ハートフルホーム相良

〒421-0526 牧之原市大沢 565-1
TEL : 0548-53-1588 FAX : 0548-53-1589

ハートフルホーム島田東

〒427-0011 島田市東町 1394 番地
TEL : 0547-54-5575 FAX : 0547-54-5559

ハートフルホーム厚原

〒419-0201 富士市厚原 179-1
TEL : 0545-32-8588 FAX : 0545-32-8887

ハートフルホーム加島

〒416-0912 富士市加島町 8-16
TEL : 0545-32-6866 FAX : 0545-32-6855

ハートフルホーム開北

〒410-0004 沼津市本田町 2-52
TEL : 055-929-1805 FAX : 055-929-2588

カフェ&リハ静岡千代田

〒420-0801 静岡県静岡市葵区東千代田 1 丁目 7-12
TEL : 054-295-5455 FAX : 054-295-5559

静岡市駿河区八幡山 地域包括支援センター

〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目 12-10
TEL : 054-202-6677 FAX : 054-202-5032

脳梗塞リハビリBOT静岡 静岡店

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目 8-1
TEL : 054-289-6588 FAX : 054-270-7010

脳梗塞リハビリBOT静岡 富士店

〒419-0201 静岡県富士市厚原 179-1
TEL : 0545-30-6108 FAX : 0545-32-8887

べんぎん福祉用具サービス (福祉用具貸与・販売・住宅改修)

〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵 1 丁目 8-1
TEL : 054-269-6306 FAX : 054-270-7010

べんぎん保育園上足洗

〒420-0841 静岡市葵区上足洗三丁目 14-39
TEL : 054-294-7188 FAX : 054-294-7288

べんぎん保育園豊田

〒422-8027 静岡市駿河区豊田一丁目 1-41
TEL : 054-266-3268 FAX : 054-266-3263

セノバ保育園

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 1-11-11 静鉄鷹匠アネックス2F
TEL : 054-255-7575 FAX : 054-266-7050

関連会社

- ・株式会社アクタガワホールディングス
- ・株式会社アクタガワHRM
- ・株式会社リージョン・フォース

- ・株式会社ファイブ・センス
- ・株式会社芥川ビル

SDGs への取り組み

持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

ダイバーシティ
経営企業認定
(経済産業省)

女性活躍
えるぼし認定
(厚生労働省)

ISO9001
認証取得

CSRパートナー企業
(静岡市)

しずおか
ランニングパトロール
(静岡県警)



お問合せはこちら 054-204-1388



アクタガワホームページ

アクタガワ

検索